

会議録(概要)

会議の名称	令和3年度 第1回 佐渡市男女共同参画推進懇談会
開催日時	令和3年6月30日(水) 午後3時00分から4時30分
場所	佐渡市役所 第2会議室
議題	(1) 令和2年度 男女共同参画事業について(報告) (2) 令和3年度 男女共同参画事業について(計画案) (3) 男女共同参画推進セミナー開催について (4) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	有識者7名、公募参加者1名 事務局：企画課 政策推進係 係長 安藤 辰也 主事 長島 崇史
会議資料	・資料 No.1 令和2年度 男女共同参画推進事業報告 ・資料 No.2-1 令和3年度 男女共同参画推進事業計画(案) ・資料 No.2-2 令和3年度 男女共同参画計画事業予定 ・資料 No.3 令和3年度 男女共同参画推進セミナー企画書
備考	

会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
安藤係長	あいさつ
座長	(1) 令和2年度 男女共同参画事業について報告をお願いします。
長島主事	(資料 No.1 に基づき、概要説明)
座長	セミナーの参加者23名の男女の内訳、年代別の内訳を教えてください。
安藤係長	男性が21名、女性が2名ほどであった。昨年度は、PTAの方にお声がけをした。PTAの方でも、お父さんがPTA事業になかなか参加しないという課題もあるようだったため、協力する意味でお声がけした。小中学校PTA連合なので、親の年齢はバラバラだったが、30代が多かったように思う。

A 氏	チラシを学校で2度配ったが、保護者の参加はゼロだった。参加しない理由が知りたい。興味がないことが理由なのか、開催場所に問題があるのか、結局理由はわからなかった。案内のチラシはよくできていて、テーマも面白そうだったので、期待していたが、結局申し込みはなく、残念だった。何が理由なのか、明らかにしないと今年度も同じことになるかと懸念している。
安藤係長	このセミナーのそもそもの目的は意識改革だと捉えている。興味がある人に来てもらうことも大事だが、興味がない人に来てもらうことも重要だと思っている。市が行う他の企画もなかなか参加者が集まらない現状がある。
B 氏	昨年、別で実施している「パパ講座」でチラシも多く配り、参加者を募ったが、定員6名のうち3名しか集まらなかった。もしかして、男性は何か学ばされることに抵抗があるのではないかと感じる。男性は講座やセミナーに対するとらえ方が女性ともしかして違うのではないかと感じる。男性には押し付けられるアプローチではない集め方を目指す必要があると感じる。
A 氏	勉強してきたことを家庭で実践する必要があるから、参加して自分で自分の首を絞めてしまうことを懸念しているのではないかと感じる。下手に参加してはいけないと思っている節がある。それと、男性のプライドのようなものがあって、ブレーキがかかっているのではないかと感じる。
B 氏	実際に参加してみてどうだったかという点、子育ての悩みや子供との付き合い方などを話す場として、有意義なセミナーだったという感想が多い。実際に参加してみるとよかったということはどうやって伝えるかが重要と思う。
C 氏	チラシを配って終わりではなく、直接説明をすることが必要だと思う。
D 氏	確かに、男性のプライドというものもあるかと思う。また、グループワークが面倒くさいので行かないという人も多い。話し合いを嫌がる傾向がある。強制力がないとなかなか人集めは厳しい。
E 氏	保育園でイベントの声かけを行うと、参加してくれる。何かしらイベント感覚のようなものだと参加しやすいかと思う。講演会だとハードルが高い。
座長	確かに、講演会のみで、託児所もないとなると、ハードルは高いと思う。イベントに追加としてセミナーがあるといいと思う。
F 氏	パパよりママをテーマにした方が集まるように思う。子どもたちのイベントも併設するのはいいことだと思う。
G 氏	やはり、このセミナーの存在自体、あまり知られていないと感じる。

座長	次に、令和3年度 男女共同参画推進事業計画（案）について、事務局より説明をお願いします。
長島主事	（資料 No. 2-1、2-2 に基づき説明）
B 氏	LGBT、DV、男性の育児休暇についての施策が入っていないように感じる。どの課がどのように推進していくのか、教えてほしい。
安藤係長	まず、LGBT については、議会でも質問をいただき、佐渡市でも現在検討をしている。市民生活課では人権の観点から、企画課では男女共同参画の観点から担当している。たしかにパートナーシップ制度については重要性を感じており、ほかの自治体でも取組が進んでおり、やらなければならないことだと考えている。一方で、まずは市民への理解を深める啓発を行うことが重要である。周りの理解がない中で、逆に制度を使うことで本人が辛いような状況になってはいけないと思っている。 DV は、子ども若者課が中心となり取り組んでいる。 男性の育休については、地域振興課が取り組んでいる。新潟県のハッピーパートナーにさらに育休を推進すると助成金がつく制度になった。これを地域振興課のセミナーなどでも周知している。また、国の制度を有効に活用するよう周知を行っている。
C 氏	島内各種イベントへのブース出展は、どのようなイベントを想定しているか。
長島主事	人権展はもちろんの事、例えば、女性活躍に焦点をおいたイベントなどの方向性の近いイベントに出展できればと思っている。
安藤係長	親子で来れるところを狙いたいと考えている。キッズお仕事体験など、親も子も楽しめるイベントに出展したい。
C 氏	人権展もいいが、あまりターゲットが絞られすぎているところだけでなく、広い範囲の参加者が来るイベントもぜひ検討いただきたい。
座長	（3）男女共同参画推進セミナー開催について事務局より説明をお願いします。
長島主事	（資料 No. 3 に基づき、説明）
B 氏	最近、子どもがある程度大きくなった夫婦に対して啓発をするのは難しいのではないかと感じ始めた。むしろ、子どもが生まれたばかり、あるいは子どもが

	<p>これから生まれる時点で、親は既に不安を感じ始めている。子どもが生まれたばかりの時点で、お父さんがどのように対応するかということが、その後大きな影響を与える、ということが多くの研究で明らかになっている。それで男性の育休が重要視されている。例えばNP（ノーバディーズパーフェクト：完璧な親なんていない）のプログラムで、お母さんから「ワンオペ」という言葉がたくさん出てくる。「子育ては他人事」だと考えている夫が多い。子どもが生まれたときから男性に伝えていくことが重要だと思う。</p>
安藤係長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。高齢になればなるほど、しきたりなどを重視する傾向がある。プレママパパセミナーなどに参加する世代なら、お互いの理解が得られやすいと感じる。ターゲットをどうするかということも重要なので、検討したい。</p>
A氏	<p>学校で子どもたちには、「私は家でトイレ掃除をやっている。やっているうちに家庭で役割を担っていることに楽しみを感じる」という話をしている。家事をやるメリットがあるということを伝えている。男性が家事参加することのメリットを伝える観点も大切だと思う。例えば、女性は子育てが生きがいになっていると思うが、男性にもそれを感じさせたい。</p>
座長	<p>内容について特に問題ないようであれば、事務局一任として進めていただいてよろしいか。</p>
G氏	<p>懇談会参加者に協力できることはあるか。</p>
長島主事	<p>周知の部分で力を貸していただきたいと思っている。</p>
座長	<p>保育ルームは用意する予定か。</p>
長島主事	<p>昨年度は保育ルームは設置せず、ファミリーサポートを使っていた経緯があるが、今年度は検討したい。</p>
安藤係長	<p>子育て世代と市長のタウンミーティングで保育ルームを設置した。同様に、保育ルームの設置を前提として進める。</p>
座長	<p>(4) その他 懇談会参加者の追加については、これまで議論してきたところであるが、改めて意見をいただきたい。</p>
F氏	<p>商工会の方は、やはり本業がメインで、こういったことに参加する若い方はなかなかいないように思う。</p>

G 氏	うちの組織も、なかなか若い方がいない。
A 氏	小学校の PTA 会長は少し年上だと思うが、保育園の保護者会の会長も年代的にはちょうどよいのではないかと考えている。
E 氏	保育園の保護者は、お願いすればやってくれる方はいると思う。
D 氏	例えば、労働者の代表ということであれば、うちの職場から出すことはできると思う。
F 氏	事務局に質問だが、若い方に出ていただいて、どんな意見をほしいのか。
安藤係長	若い方というよりも、事業所としての意見をもらいたいと考えている。事業所目線を入れたい。職場の方でも、変わりたいと思っているはず。アンケートでも出ているとおり、女性に残業をさせにくいなどの、経営者の悩みなどもあると思うので、事業所からの参加者もほしい。
F 氏	労働者と経営者のどちらの意見を入れたいのか。
安藤係長	経営者の意見を聞きたいと考えている。
座長	人数ばかり多いよりも、今年度は少数精鋭でこのまま進めてもよいと思っている。
B 氏	実際に仕事をしながら子育てをしている女性の意見が足りないと考えている。また、事業所で何がネックなのか、それをどのように解決するかというのは、経営者側から意見を聞く必要がある。そういった方が参加者に追加されると非常に豊かな議論ができると考えている。
座長	今年度に関してはこのメンバーで進めていくということで、来年度にむけて経営者や現役世代の追加を検討する方向でどうか。また、忙しい方にも参加できるよう、「オンライン委員」といったシステムも実現できたらよいと思っている。
安藤係長	事業所の情報については、地域振興課から情報をもらい、第 2 回の懇談会で提供できるようにしていきたい。
C 氏	最後に、人権展には小中高の生徒が見学に来るので、今年は難しいかもしれないが、来年度以降、子どもたちに説明する展示の充実や、説明者の設置ができればよいと思います。

長島主事	展示内容・説明資料の作成も含めて、準備したい。例えば、子どもたちが興味を持つようなクイズや体験も入れて改良していきたい。
安藤係長	赤ちゃんを抱っこする体験などもよい。
B氏	人権展が身近なものであるようになってほしい。今まで、人権ってなんだろうと考えさせられることが何度もあった。例えば、佐渡では「女の者（おんなもん）」「嫁（よめ）」「旅の者（たびのもん）」などと呼ばれることがある。一人一人の人権が守られるべきものだということを伝えてほしいと思う。
座長	みなさん活発なご意見をいただき、誠にありがとうございました。